

製品名: TOB1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19116**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	40kDa

抗原情報

遺伝子名	TOB1
別名	TOB1; TOB; TROB1; Protein Tob1; Transducer of erbB-2 1
遺伝子 ID	10140.0
SwissProt ID	P50616
免疫原	抗血清はヒト TOB1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 130-179

背景

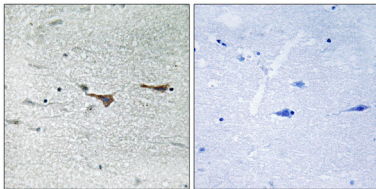
この遺伝子は、erbB-2/B 細胞転座遺伝子トランスデューサータンパク質ファミリーのメンバーをコードしています。このファミリーのメンバーは、細胞増殖を制御する可能性のある抗増殖因子です。コードされているタンパク質は腫瘍抑制因子として機能する可能

性があります。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2011年8月],機能: erbB-2 受容体チロシキナーゼと相互作用する抗増殖タンパク質。タンパク質チロシキナーゼ受容体と物理的および/または機能的に相互作用する可能性があります。PTM: Ser および Thr 残基がリン酸化されています。類似性: BTG ファミリーに属します。サブユニット: CNOT7 と相互作用します。組織特異性: 普遍的です。、

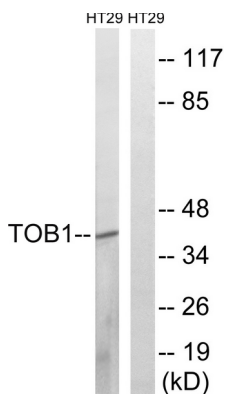
研究分野

シグナル伝達; シグナル伝達経路; 核シグナル伝達; SMAD; エピジェネティクスと核シグナル伝達; がん; 腫瘍タンパク質 / 抑制因子; 腫瘍抑制因子

画像データ



TOB1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



HT-29 細胞ライセートを血清 20% 15% で処理し、TOB1 抗体を用いてウェスタンブロット解析を行った。右レーンには合成ペプチドでブロッキングした。